

## 熊木小学校沿革史概要

年月日	名称・変遷など
明治25年4月	尋常小学校の設置許可を受け、字上町山本数方にて校舎を仮設して授業を始める。9月に生徒が増加して狭くなったため、本浄寺へ移転する。
明治26年2月	本浄寺の仏事などで授業に差し支えがあるため、字上町石田兵平、川原茂右衛門、川原茂作の三ヶ所へ移転する。7月20日に字上町ツノ部5番地において新築校舎が落成し、移転する。9月に尋常、高等の併置許可を受けて熊木尋常・高等小学校と改称する。
明治34年3月	字上町ツノ部6番地1畝歩を校地として購入し、8月に校舎前側廊下を二階建に改築する。
明治35年4月25日	生徒が増加し、校舎が狭くなったために字上町7番地の村役場を校舎の一部に充て、職員事務室・裁縫室・宿直室などに充てる。
明治38年4月	日露戦争記念として桜樹2本、柳1本、ポプラ若干本の寄付があり、校庭の周囲に植樹する。9月より同記念のため運動場の設置に着手する。
明治38年12月1日	熊木村立農業補習学校（期間割）を附設する。
明治44年3月	通常村会において、45年度中に校舎の改築を決議する。12月28日、鹿島郡令第7号を以って熊木村尋常高等小学校の位置を字上町ヲ部85番乃至93番の内、同94番の内、同96番の内、同98番・99番の内、同100番乃至102番、同103番・104番の内、112番の内、113番、同114番乃至117番、同118番乃至136番、同137番乃至146番甲、同146番乙、同147番乃至149番、同150番、合計5反5畝17歩。
明治45年2月29日	学校建築費1万58円を決議する。
大正3年6月3日	校舎改築の起工を行う。12月29日、校舎落成する。
大正4年1月8日	新校舎に移転し、3月10日に新築落成式を行う。
大正10年4月20日	附設の熊木村立農業補習学校を併設とする。
大正13年3月31日	併設期間制熊木村立農業補習学校を通年制に改正する。
昭和4年3月20日	新築講堂及び本館模様替えが落成する。
昭和10年6月1日	熊木村立農業補習学校を熊木村立青年学校と改称し、男子部普通科2年、本科5年、研究科1年とする。女子部は普通科2年、本科3年、研究科1年とする。
昭和14年4月1日	熊木村立青年学校生徒のほか中島村、笠師保村、西岸村の生徒は中島小学校舎にて合併して教育を実施する。

熊木小

昭和20年12月31日	終戦直後より本日までに軍国主義的超国家主義的設備及び国家神道的施設一切破棄する。
昭和21年4月1日	組合立青年学校を解散して熊木村立青年学校を設置する。
昭和22年3月31日	学制改革により国民学校制を解消して新たに熊木村立中・小学校を設置する。8月20日、新制中学校教育充実のため熊木村と中島村の学校組合立となり、中島村熊木村組合立熊木小学校と改称し、9月3日に開校する。当分中島中学校に仮教室を設ける。
昭和29年3月31日	町村合併により中島町立熊木小学校と改称し、地番を中島町字上町う部85番地とする。
昭和41年7月	合併20周年記念事業としてのプール施設が竣工する。
昭和54年11月5日	上町子部44番地に新校舎を建設して移転し、17日に新校舎落成式を行う。
平成8年4月1日	瀬嵐小学校を統合し、中島町瀬嵐を通学区域に加える。
平成11年11月20日	新校舎落成二十周年記念で樁25本を植樹する。
平成16年3月24日	熊木小学校閉校式典で、記念碑建立とタイムカプセル埋設を行う。
平成16年3月	中島地区小学校が統合され、中島小学校と改称される。